

2026年6月29日

各位

株式会社北洋銀行
北海道マザーインベストメント株式会社

業界再編を通じた地域課題解決を目指す 「北海道マザーファンド」の組成について

～ ファンド総額 50 億円 ～

株式会社北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、グループ会社である北海道マザーインベストメント株式会社およびロングブラックパートナーズ株式会社を運営会社として設立した、「北海道マザー1号投資事業有限責任組合(以下、本ファンド)」にファンド出資者として49.5億円を出資します。

北海道では、後継者不在や人口減少によるマーケット縮小など、地域経済を取り巻く環境が急速に変化しています。こうした環境変化のなか、地域産業の持続的な発展を実現するためには、業界単位での再編や構造転換が求められる局面を迎えています。

本ファンドは、業界再編を通じた地域企業の競争力強化および地域課題の解決を目的としております。各業界の中核企業と共同で持株会社を設立し、市場環境の変化や人材不足、後継者不在等を背景に、単独での成長や事業継続に関する経営課題を抱える企業への投資を行います。

また、本ファンドは単なる資金供給にとどまらず、各業界の中核企業が有する事業ノウハウと、北洋銀行グループの金融機能・ソリューション機能を組み合わせることで、地域企業の事業基盤強化や競争力向上を後押しし、地域産業の持続的な発展に貢献してまいります。

当行グループは、本ファンドの運営を通じて、北海道の産業競争力向上と地域経済の活性化に貢献するとともに、長期ビジョンである「北海道の魅力度・幸福度をともに日本一へ」の実現を目指してまいります。

以上

【ファンド概要】

ファンド名	「北海道マザーファンド」 (北海道マザー1号投資事業有限責任組合)
ファンド総額	50億円
ファンド運営会社 (GP=無限責任組合員)	北海道マザーインベストメント株式会社 ロングブラックパートナーズ株式会社
ファンド出資者 (LP=有限責任組合員)	株式会社北洋銀行 (LP出資者は北洋銀行のみ)
投資目的	業界再編を通じた地域企業の競争力強化および地域課題の解決
投資対象	道内企業を中心とした、単独での成長や事業継続に関する経営課題を抱える企業
投資方針	業界中核企業と共同で持株会社を設立し、事業基盤の強化や経営支援等を通じて地域産業の持続的な発展を支援
投資類型	持株会社への出資等
ファンド存続期間	2026年6月15日～2036年6月14日(10年間)

【スキーム図】

